

## 僕の願い

私立沖縄アミークス小学校五年 大和 碧

僕の通う学校は まるで小さな地球。  
アメリカ、フィジー、シンガポール  
ケニア、カナダ、イギリス、南アフリカ  
いろんな国の先生がいる。  
言葉や文化がちがっても  
肌の色や宗教がちがっても  
わかりあえる みとめあえる小さな地球。  
76年前の地上戦を学ぶため  
ピーススタデイがはじまる。  
沖縄戦の様子がパネルや絵本で  
てんじされる。  
勝った国から来た先生も  
一度も戦争がない国から来た先生も  
負けた国の先生も  
みんな真剣に写真を見ている。  
そこには戦争はナンセンス。  
みとめあい だれかを大事にする心を  
持っている。  
それぞれの歴史を理解しながら  
いっしょに過ごしている。  
平和な小さな地球。  
今年、新しい行事がひとつできた。  
いろんな色を身につけるカラフルデー。  
自分以外のことも考えるカラフルデー。  
76年たっても世界のリーダー達は  
まだチームになっていない気がする。  
戦争で何をうしなったの？  
戦争が何を生み出したの？  
令和三年の今もメデイアは毎日毎日  
日本中のリーダー達もバッシングする。  
”ワクチン足りません。”  
”バーベキューなせしたいんですか？”  
”人がたくさんいます。”密です。”  
これもある意味心の平和が消えている状態  
「よくがんばってるね。」「ありがとう。」  
優しい言葉をかけたいな。  
ネガティブ注意報発れい中。  
明日は世界が晴れますように。